



2022 年 明けまして おめでとう ございます

コロナ禍の中で迎えた2年目の元旦に 見上げた青空は清々しく どこまでも澄み渡ってキラキラと輝いていました。地上の混沌とした 私達の苦しみや戸惑いなど 何も知らないというように、いつもと変わらず 神さまの大いなる御手の業を ゆったりと あるがままに表している想いがしました。神さまが創られた 唯一のこの大切な世界。私も たった一人、たった一つの存在、一度きりの人生。みんなそう。みんな この世に一つだけ、無二の命…。次の瞬間、どんなことが起こるのかもわからない 二度と戻らない時を生かされていること。そんなことを、果てしなく広がる美しい空の下で想いを馳せた 2022年の幕開けでした。

コロナという目に見えない不安や恐怖と 隣り合わせの日々を通して、自らの歩みを止め見えなかったものや 考えなかったことへ 意識のベクトルが 変えられたように感じます。『当たり前』だったことがそうではなかったと 痛いほど気づかされたこれまでの2年間で 今年、決して無駄にしたくない！と思っています。工夫や学びや挑戦に変えていきます！そして 何より、目の前の愛する子ども達こそ その前向きさやパワーに漲っていることを 冬休み明けの昨日の朝、久しぶりの満面の笑顔と明るい笑い声に 実感！&確信！しました。「子どもは神様が与えてくださった天使、子ども達が生きるこの保育園は天国、感謝だね」と つのぶえの設立者・初代理事長の檜崎光先生が よく言われていたことを 思い出します。コロナ禍の生活が いつまで続くのか、この1年もどんな歩みができるのかはわかりません。けれども、愛する子ども達と共に分かち合える日々は 私にとって何物にも代え難い宝です。この倖せと恵みに感謝しながら、これからの新しい1年も 天を仰ぎ祈りつつ尽力致します。職員一同、本年も どうぞよろしくお願い申し上げます。イエス・キリストの愛と共に・・・

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。（伝道者の書 12：1）」（石田 記）